

ALSI 標的型サイバー攻撃から重要情報を守る ファイル自動暗号化ソフト「InterSafe IRM」を発売開始

～OpenOffice や動画、データベース、独自アプリケーション等の自動暗号化を実現～

アルプス システム インテグレーション株式会社(本社:東京都大田区、代表取締役社長:麻地 徳男、以下 ALSI[アルシー])は、ファイル自動暗号化ソフト「InterSafe IRM(インターセーフ アイアールエム)」を2012年1月31日より発売することを発表いたします。

■製品概要

製品名	ファイル自動暗号化ソフト「InterSafe IRM」
発売開始	2012年1月31日
ターゲット	企業、自治体、官公庁、学校 など
ライセンス価格 (税別)	一般:15,000円～ / ガバメント:12,000円～ / アカデミック:10,500円～ (上記は1～99ライセンスの場合の1ライセンスあたりの価格です)
販売目標	初年度3億円(50,000ライセンス)
詳細情報	http://www.alsi.co.jp/security/isirm/

■新製品発売の背景

近年、特定の企業や組織の機密情報や個人情報を狙った「標的型攻撃」が全世界で増加しており、2011年は日本国内においても、大手企業や官公庁に被害が及びました。従来のウイルス対策ソフトやファイアウォールでは対応しきれない場合が多く、今後も被害が拡大していく可能性が考えられます。

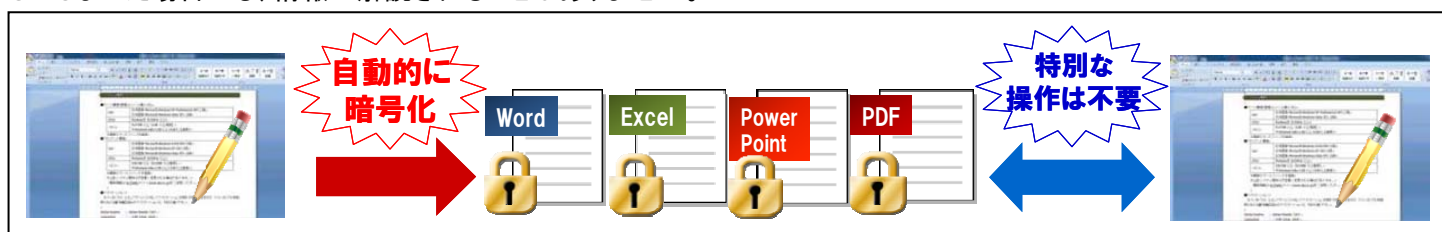
このような背景により ALSI は、ファイル単位の自動暗号化により重要情報を守ることができる「InterSafe IRM」の発売を2012年1月31日より開始いたします。IRMとは、Information Rights Managementの略で、ユーザーが意識することなく、多様なアプリケーションでファイル単位の自動暗号化ができるため、万が一「標的型攻撃」の被害を受け、情報が外部に流出してしまった場合でも、機密情報を保護し続けることが可能です。Word、Excel、PowerPoint、PDF、一太郎などに加え、従来自動暗号化が難しかった Open Office や Media Player、Access、Visio など、フリーソフトや動画、データベースソフトなど、幅広いアプリケーションに連動し、さらにはユーザーが独自に利用しているソフトウェアについても、プロセス名と拡張子を登録することで、ファイルの暗号化と復号化を行うことができる、画期的な製品となっております。

なお、ファイル単位の高度な暗号化により、経済産業省が公表している経済産業分野対象の個人情報保護法ガイドラインにも準拠^(※1)しているため、ファイル流出後に情報漏洩のリスクを回避し、個人情報を強固に守ることができます。ファイルそのものを暗号化することにより、情報漏洩対策を実現できるため、「標的型サイバー攻撃」から重要情報を守る強力なソリューションとして、ご活用いただけます。

■「InterSafe IRM」の特長

(1)ファイル単位で自動暗号化

予め設定したアプリケーションにおいて、平文ファイル(暗号化されていないファイル)を開いたり、保存した際にファイルを自動的に暗号化いたします。暗号化および暗号化されたファイルの利用に特別な操作は不要のため、ユーザー、管理者ともに従来の操作方法に一切変更はありません。パスワード方式とは異なり、専用ソフトによるファイル単位の暗号化を行うことが可能なため、「標的型サイバー攻撃」や「不正な持ち出し」、「添付ファイルの誤送信」等で万が一ファイルが外部に流出してしまった場合でも、情報が解読されることはありません。



(2) 多様なアプリケーションを暗号化

Word、Excel、PowerPoint、一太郎、Adobe Acrobat、Open Office 等、アプリケーションを問わず様々なファイルを暗号化することができます。管理画面より暗号化したいアプリケーションを独自に追加することも可能です。

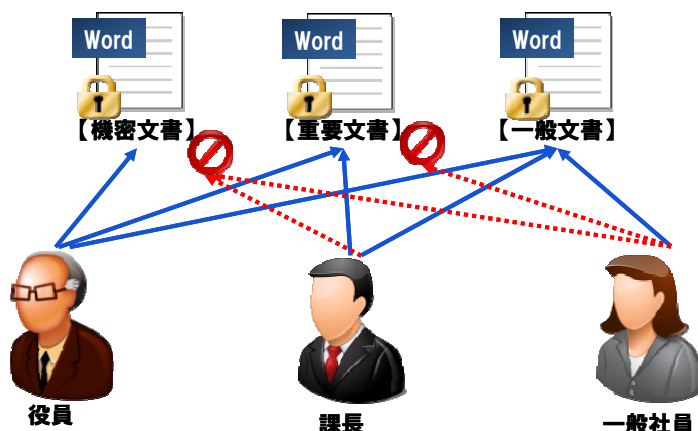
【検証済み暗号化対象アプリケーション】

Microsoft Word (2003/2007/2010)、Microsoft Excel (2003/2007/2010)、Microsoft PowerPoint (2003/2007/2010)、Microsoft Access 2010、Microsoft Visio 2010、Microsoft メモ帳、Microsoft ワードパット、Microsoft Paint、Adobe Reader 9 / X、Adobe Acrobat X Pro、Open Office 3.3 (Writer/Calc/Impress)、Fuji Xerox DocuWorks Viewer 6.2 / 7.2、JustSystem 一太郎 2011、Windows Media Player、Picture Manager (1月31日時点)

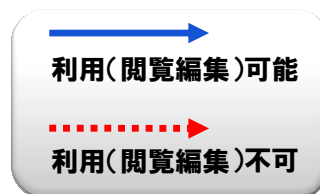
(3) アクセス権限設定

独自にユーザー属性を利用者に設定し、ユーザー属性とアクセス権限を紐付けて、ファイルを暗号化します。ファイルそのものにアクセス権限が付与され、暗号化が行われているため、ファイルのコピーや移動などにより保管場所が変わった際も、暗号化は保たれ、アクセス権限も維持されます。

【機密文書 設定例】



ユーザー属性	閲覧権限	暗号解除	権限変更	有効期限
役員	○	○	○	なし
管理職	○	×	×	なし
社員	×	×	×	あり



(1月31日時点)

(4) 多言語対応でグローバルなセキュリティ対策も実現

クライアントソフトは日本語・英語・中国語(簡体)、管理コンソールは日本語・英語に対応しており、グローバルに事業を展開し、海外に拠点を持つ場合も、日本と同じセキュリティ管理を行うことができます。

(5) クラウド環境でのマルチテナント管理も1サーバーで可能

1サーバーで複数の会社を管理・運営することができるため、パブリック/プライベート問わず、幅広いクラウド環境で活用することが可能です。

情報漏洩対策シリーズ「InterSafe ILP」

ALSI の情報漏洩対策シリーズ「InterSafe ILP」は、ビジネスの様々なシーンで発生するセキュリティリスクに対応し、同一ブランドならではの連携の良さと一元管理で、シームレスな対策を実現いたします。今回の「InterSafe IRM」の発売により、ファイルの暗号化からデバイス制御、申請承認ワークフロー、暗号化 USB メモリ、ログ管理を業務プロセスとして、一連の運用が可能となります。



※掲載されている会社名及び商品名は各社の商標または登録商標です。

※1: 厚生労働省・経済産業省「2009年 個人情報の保護に関する法律についての経済産業分野を対象とするガイドライン」“2-2-3-2.安全管理措置(法第20条関連)”

【このリリースに関するお問い合わせ・取材受付先】

アルプス システム インテグレーション株式会社
〒145-0067 東京都大田区雪谷大塚町 1-7
広報担当: 桑野 宏子 (kuwano@alsi.co.jp)

URL: <http://www.alsi.co.jp/>
TEL: (03)5499-8043 FAX: (03)3726-7050